

1. 2015年度事業報告

1. 総会

◆第23回総会 2015/05/26（名城大学名駅サテライト多目的室）出席者：29名

1. 2014年度(平成26年度)事業報告
2. 2014年度(平成26年度)会計報告
研究会会計、2014年度特別会計（田中基金）決算、平成26年度記念行事特別会計報告（決算報告）
3. 2014年度(平成26年度)監査報告
4. 規約等一部訂正
5. 2014年度～2015年度役員一部交代
6. 2015年度(平成27年度)事業計画
7. 2015年度(平成27年度)予算
8. その他 1) 中部産業遺産研究会のロゴマークを20周年を記念して新設の件
記念講演「スウェーデンの技術教育遺産としてのスロイド（手工）教育」横山悦生（会員）

2. 定例研究会

◆第134回定例研究会 2015/05/17（名城大学名駅サテライト多目的室）参加者：29名

1. 研究報告、調査報告

[134-11-01] 報告「スポーツ学生のものづくり体験 その3」 水野信太郎

◆第135回定例研究会・第1回さんぎ大学 講話会（共催）2015/07/12

（トヨタ産業技術記念館ホールA）

講話①「注目される産業遺産 一新たな楽しみ方」 講師 天野武弘

講話②「佐吉の想いと遺された煙突基礎 一歴史、保存一」講師 成田年秀

参加者：約80名（内会員33名）

1. 研究報告、調査報告

[135-11-01]「緑区有松の捕虜収容所跡と作家城山三郎の青春」 馬場慎一

[135-11-02]「コマツG40ブルドーザーと海軍施設本部沼津屋外実験所」 国立 篤

2. その他の諸報告、保存問題など

[135-31-01] 研究会誌『産業遺産研究』第22号 配布 浅野伸一

◆第136回定例研究会・見学会 2015/09/27 参加者：22名

「木曽三川資料館 木曽川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る」案内：馬場慎一

午前：「木曽川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受ける。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曽三川公園治水タワー広場にて、昼食（各自持参）と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水制工を河川内に見る。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。長島駅に戻り解散。（輪中の郷入館料310円）

◆第137回定例研究会 2015/11/22 (名古屋都市センターまちづくり広場11Fホール)

参加者：36名

1. 研究報告、調査報告

[137-11-01]「第14回TICCIH本会議（フランス・リール）の報告」 石田正治

[137-11-02]「ラオスへのガラ紡技術移転と産業化への可能性」 天野武弘

◆第138回定例研究会 2016/01/24(名城大学名駅サテライト会議室) 参加者：29名

1. 研究報告、調査報告

[138-11-01]「電気事業史資料の見方調べ方」 浅野伸一

[138-11-02]「日本の航空機・自動車の戦前の開発史」 杉本漢三

[138-11-03]「東ヨーロッパの産業遺産の紹介」 市野清志

[138-11-04] 前回続き「ラオスへのガラ紡技術移転と産業化への可能性」再議論 天野武弘

2. その他の諸報告、保存問題など

[138-21-01]「データベース研究会」中間報告 天野武弘

◆第139回定例研究会 2016/03/20 (名古屋市緑生涯学習センター第2・3集会室) 参加者：19名

1. 研究報告、調査報告

[139-11-01]「新美南吉の文学と生涯とゆかりの建築物」 水野信太郎・野口英一朗

[139-11-02]「文献調査の方法」 朝井佐智子

[139-11-03]「鉄道資料の整理法」 山田 貢

[139-11-04]「産業遺産研究資料のP Cデータ整理法」 石田正治

2. その他の諸報告、保存問題など

[139-21-01]「データベース研究会」中間報告 天野武弘

[139-21-02]「東山植物園温室の保存・修復工事」見学記 大橋公雄

3. シンポジウム、その他の催物

◆第11回パネル展と講演会

テーマ：「東海の絹 文化と産業遺産」

・パネル展

開催時期：2015/11/17（火）～11/29（月）

会 場：名古屋都市センター11F まちづくり広場・企画展示コーナー

入場者：1,909名

・講演会

開催日：2015/11/22（日）

会 場：名古屋都市センター11F まちづくり広場・大研修室 参加者：120名

講 演：「日本のシルクロードに残る蚕糸産業遺産～富岡製糸場と各地の産業遺産～」

講師 大橋公雄（会員）

特別講演：「近代製糸工場の先覚者、五世・伊藤小左衛門」

講師 伊藤康則氏（四日市四郷郷土資料保存会副会長）

報 告：「加茂蚕糸～自動車産業以前の拳母」

講師 小西恭子（豊田市近代の産業とくらし発見館、会員）

報 告：「浜名湖れんが館(旧宮崎製糸鷺津工場乾繭倉庫)の紹介

～静岡県西部の養蚕・製糸の歴史～」講師 漢人省三（会員）

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 参加者：65名

テーマ：「稼働遺産とその活用」－新たな展開を求めて－

開催日：2016/02/21（日）13:00～16:45

会 場：名古屋市西区則武新町 トヨタ産業技術記念館 ホールA

基調講演：「産業遺産の評価と保存－「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録に関して－

講師 清水憲一（九州国際大学特任教授）

講 演：「現役の鉄道可動橋末広橋梁」

講師 葛山拓也（四日市市教育委員会）

講 演：「未だ稼働し続けるシャトル織機」講師 成田年秀（トヨタ産業技術記念館副館長）

◆小見学会「岐阜県神坂（みさか）風穴」 案内：田口憲一

開催日：2016/03/29（火） 小雨決行（荒天中止）（恵那山トンネル近く）

見学先：恵那市 山本風穴跡、同記念碑、東野蚕種所跡、中津川市の神坂風穴跡 参加者 8 名

◆小見学会「知多半島 岡田の織布工場」 案内：林 金治（知多歴史民俗研究会 会長）

開催日：2016/04/21（木） 小雨決行（荒天中止）

見学先：岡田の岡徳織布工場、阿久比の新美織布工場、木綿蔵 参加者 6 名

◆「ものづくり文化再発見！ウォーキング」大会（協力）

第14回：名古屋市役所・文化のみち・徳川園コース 実施日：2015/06/07（日）参加者：673名

第15回：高浜市内を巡るコース 実施日：2015/10/17（土）参加者：273名

4. 刊行物

◆研究会誌『産業遺産研究』第22号 2015/07/12発行 240部

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回講演報告資料集 2016/02/21発行150部

◆会報（印刷物及び電子版にて発行）

第58号2015/04/20発行、第59号2015/07/10発行、第60号2015/10/30発行

第61号2016/01/15発行、第62号2016/04/15発行

5. その他

◆幹事会・役員会・その他の会議

第1回幹事会 2015/06/16 メール

1. 研究会の旗（ロゴマーク入り）の作成について

第2回幹事会 2015/08/06 メール

1. 研究会の旗（ロゴマーク入り）の作成について

第3回幹事会 2015/08/06 メール

1. 会計簿開示について

第4回幹事会 2015/09/22 メール

1. 会計簿開示について

2. 研究会旗の作成延期について
会員の退会について

第5回幹事会 2015/10/27 メール

1. 幹事会の日時・会場の案内について

第6回幹事会 2015/11/21 名城大学名駅サテライト
総会準備について

役員会 連絡 2015/10/22 メール

1. 役員会の日時・会場案内について

第1回役員会 2015/12/13 名城大学名駅サテライト会議室

1. 総会準備について

第2回幹事会・役員会合同会議 2016/04/29 名古屋市市政資料館 会議室

1. 総会準備について

◆その他の委員会・打ち合わせ等

会報編集委員会

2015/07/25 カーネルコンセプト会議室

1) ISSN登録手続きが完了について

2) 「選奨産業遺産」について

2015/12/13 名城大学名駅サテライト会議室

1) 会報60号、第2版発行について

2) 発行の構成・内容について

2015年度の会計監査 2016/04/03 名古屋市東区生涯学習センター 和室

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回実行委員会

2015/03/22、05/17、07/12、11/22、2016/01/24、03/20 6回実施

◆第11回パネル展「東海の絹 文化と産業遺産」勉強会 会場：名古屋都市センター13F 会議室

2015/02/08、2015/04/12、2015/06/14、2015/08/09、2015/10/11 5回実施

◆第12回パネル展「東海の綿織物・毛織物と産業遺産」勉強会

会場：名古屋都市センター13F 会議室、2016/02/07、04/10

◆『産業遺産研究』編集委員会 主にメール会議にて適宜実施

◆「中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版」 月に2回更新 年25回ほど発行

◆「中部産業遺産研究会 ウェブサイト」 2014/08/18 リニューアル

◆会員異動及び会員数 2015年度の入会者8名、退会者7名、

2016年4月1日の会員数は個人125名、法人2団体、計127名(前年比+1名)

※ 入会8名：井上正行4/1、山田富久5/15、後藤充伯5/25、立花健二6/18、野村千春11/22、

安江篤志12/15、林久美子12/25、潮田智道3/4、

退会7名：佐々木享5/16、高橋進8/21、山本信雄9/22、吉田豊3/29、大石守一3/24、

土橋文明3/31、宗美修3/31

6. 2016年度 事業計画

1. 総会

第24回（2016年度）総会 2016/05/29（大同大学滝春校舎本館14F 交流会室）
記念講演「日本の電気事業の変遷と産業遺産」 寺澤安正

2. 事業計画

諸活動を通じて、産業遺産の調査研究、その保存と普及、啓蒙に努める

（1）産業遺産の調査研究

- ・産業遺産の調査研究と保存、および関連分野の研究とその普及、発展をはかる
- ・「日本の産業遺産データベース」の構築に調査協力をする
- ・ものづくり再発見の英語版ガイドブックをホームページで広く宣伝し活用にも努める。
- ・鋸屋根工場の調査を継続して行う

定例研究会

- ・原則として奇数月の日曜日の午後に研究報告や講座など開催する。
- ・見学会は9月と3月に開催する
- ・内容は産業遺産に関わる研究報告・調査報告（産業遺産の見方・調べ方）、産業遺産の保存問題を中心とし、研究会誌・会報（ニューズレター）の原稿と編集、シンポジウム・見学会・その他の催物の企画、案内、文献・資料の紹介、委員会・役員会の報告、幹事会・事務局関係、近況報告
- ・産業遺産調査カードを利用するなどして、気軽に発表が誰でも出来るように努める

（3）シンポジウム、見学会、その他の催物

- ・第12回2016年度パネル展・公開定例研究会の企画、開催する
- ・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回の企画、開催する
- ・「さんぎ大学」を企画、共催する
- ・平成28年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」（協力）
- ・その他、必要に応じて有志のミニ見学会等を計画し、開催する

（4）刊行物

- ・研究誌『産業遺産研究』第23号を発行する
- ・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第35回の開催と講演報告資料集を発行する
- ・「会報」は、年4回発行し、定例研究会、見学会などの案内と報告を掲載する
- ・「電子メール版会報」を随時発行する

（5）役員会・幹事会・委員会

- ・役員会は適宜開催する
- ・幹事会は必要に応じて集まって行い、検討事項が発生した時には、電子メール会議を行う
- ・研究会誌編集委員会、パネル展の勉強会、シンポジウム実行委員会など委員会を適宜開く
- ・会員名簿を作成し、会員に配布する

（6）諸活動 ・研究会のウェブサイトの運営と管理をする

（7）その他

- ・研究会の新会員の募集を積極的に行う。法人の賛助会員に努める
- ・名古屋市文化事業関係自費出版補助事業に研究会誌「産業遺産研究」の補助申請をする